

リード&ゴー! 猿沢 7

豊かな環境を守り、みんなの生きがいを生み出す活力ある地域を創る

もくじ

- ◎感動と感謝のまちづくり 1P
- ◎集落の活動紹介 1P
- ◎大地の恵みに感謝、美味しさを未来へ 2P
- ◎各集落センターで「地域の茶の間」が始まります。 3P
- ◎救急講習（入門コース） 3P
- ◎おらだりやねらだりの宝もの 4P
- ◎猿沢のあねさ方がTV番組に出演 4P
- ◎春のお楽しみ行事 4P
- ◎あとがき 4P



集落の活動紹介

雪像と雪灯籠作り (寺尾集落)

寺尾公民館主催の雪像と雪灯籠作りが、2月8日に行われ、大人と子供合わせて20人程が参加しました。例年になく小雪の為、軽トラで数回ふれあいセンター周辺に雪を運び、雪のブロックを作成。それをスコップ・移植ゴテ・電動チェーンソー等を使って、テラオザウルスIIと機関車トーマスを作成しました。子供達は完成した2体の雪像に乗って、大喜びでした。また道路脇に61個の雪灯籠を作り、夕方ロウソクの火を灯すと幻想的な雰囲気になり、大勢の人が見学に訪れていました。(板垣 淳一)



獅子舞 (鵜渡路集落)

2月16日、伝統行事である「獅子舞」を行いました。鵜渡路では、一年間の安全と住民の無病息災のほか、毎年15歳になる男子が大人の仲間入りをする「儀式」として、消防団が主体で行っています。今年の対象者は大海祐樹さん(中3)でした。祐樹さんは、獅子役の頭部に入って、集落全戸を回り、元気いっぱい獅子舞を演じていただきました。(松田 康成)



感動と感謝のまちづくり

鈴木芳太郎(猿沢)

早春の候、皆様には益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。猿沢地域まちづくり協議会の発足から2年が過ぎようとしています。この間、地域の皆様をはじめ、地区区長会、公民館、PTA、多くの団体からお力添えをいただいたことに、改めて感謝を申し上げます。協議会の役割は、猿沢地域の活性化を図り、身近な課題の解決を通じて、「ここに住んで良かった」と思える地域づくりを進めることが最大の目的でした。協議会の役員は、アイデアを出し合い、「一致協力してまちづくりに励んでまいりました。これまでの活動を一言で振り返ると、「感動」の連続でした。地域の豊かな自然、歴史に育まれた文化、人情味に溢れる仲間との出会いがありました。中でも、イベントや活動にご協力いただいた皆様からは、地域が一体になって歩もうとする熱い「心」に胸を打たれました。この「心」がこれからの地域活性化の最大の推進力になると考えているところです。

昨今、まちづくり協議会には、各種分野からいろいろな意思表示を求められることが増えています。私自身も、この地域が近い将来、どんな姿になっているか想像する機会が多くなってきました。そのためにも、情報を共有し、地域が一体となり、友情と更なる交流を深め、積極的に活動する必要があると考えます。今後とも、皆様一人ひとりのお力添えをよろしくお願いいたします。

おらだりやねらだりの宝もの

福建の杉

猿沢集落には、天皇后白河院第三の皇子、雲上佐郎公「お手植え」と伝えられる大きな杉があります。

この杉は、大満虚空蔵尊奥の院に登る旧参道の途中、「福建」と呼ばれるところにあることから、「福建の杉」と呼ばれています。太さは、大人四人が手を広げて回したくらい大きさです。旧参道を使用していた頃は、杉の近くに清水も湧き出ており、虚空蔵様の春・秋大祭の折、奥の院参拝の「一服」の場所として、古来区民から親しまれていました。現在は、林道三沢線途中にある駐車場からわずか五分の道程で、どなたでも行くことができます。



触れる機会が少なくなったこの杉を、区民はじめ多くの人に親しんで欲しいとのことから、今春に周辺の整備を計画しております。今後は、立派に磨きをかけ、猿沢の財(たから)として後世に伝えていきたいと思っております。(高橋博愛)



猿沢のあねさ方がTV番組に出演!

1月23日、全国放送のテレビ番組「ケンモンSHOW」に出演しました。番組では、豆腐を寒天で固めた料理で、猿沢地域では砂糖と醤油で味付けし、豆腐とクルミを入れる「おやつ」タイプが主流のようです。番組では、山北地区では「こ飯のお供」として、神林地区では「ニンジン」や「ゆず」を入れ、市内のある割烹では「キクラゲ」が入ると紹介されました。テレビ放送の影響なのか、市内各地の直売所などでは、「豆腐寄せ」を店に出すとすぐに売れてしまっ日、しばらく続いたそうです。



▲放映の様子 豆腐寄せ▶

標語募集!

あいさつ+1(プラスワン)運動を推進するための

- ◎募集締切：4月30日(水)
- ◎入選及び賞：最優秀賞に賞金5,000円を含む一般・小学生各10人に賞品プレゼント また、小学生は応募者全員に参加賞
- ◎応募方法：本新聞に折り込まれた応募用紙に記入または、応募用紙を協議会のHPからダウンロードしてご記入ください。



あとがき

村上市在住の平野歩夢さんが、冬季ソチ五輪のスノーボードハーフパイプに出場し、銀メダルを獲得する快挙を達成しました。▼15歳74日でのメダル獲得は、冬季五輪日本人最年少記録で、村上市民に夢と希望、そして感動を与えてくれました。▼快挙の裏には、本人の努力だけでなく、多くの協力者がいたことなのでしょう。▼彼を育て、支えてきたご両親には、「感謝」という名の金メダルをささげたいと思います。(高橋 勝 下中島)

発行元・お問い合わせ
 ■発行 猿沢地域まちづくり協議会
 ■事務局 〒958-0251 新潟県村上市岩沢5611番地 (村上市朝日支所 地域振興課内)
 ■連絡先 tel.0254-72-6880 fax.0254-72-0328 MAIL as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp
 ■HP でも活動の様子を公開しております http://www.city.murakami.lg.jp/machizukuri/sarusawa/kyogikai.jsp

春のお楽しみ行事

3月	16日	春の信心よごもり(鵜渡路)
	23日	将棋大会(上野)
	24日	猿沢小学校 卒業式
	26日	猿沢保育園 卒園式
4月	3日	猿沢保育園 入園式
	上旬	水生動植物ビオトープ整備(下中島)
	7日	猿沢小学校 入学式
	13日	虚空蔵様 春の祭礼(猿沢)
	19日	猿沢地域まちづくり協議会 総会
	20日	花見(川端)(猿沢)
	23日	春神楽(宮ノ下)
	26日	みどりの里 山菜グルメの集い
	29日	山菜ハイキング&三叉路の花植え(板屋越)
5月	3日	みどりの里春まつり(6日まで)
	8日	春神楽(板屋越)
	11日	みどりの里 茶会
	18日	新明宮祭礼(鵜渡路)
	31日	猿沢小学校 大運動会
6月	上旬	花植え(宮ノ下)
	8日	猿沢地区敬老会

これまでの活動の流れ

第1回勉強会 (2013.8.30)

「地域の茶の間」の
基本を知る

第2回勉強会 (2013.10.4)

活動事例からスケジュールや
プログラムを考えてみる

第1回研修会 (2013.10.29)

実践的なことについて
学ぶ

第3回勉強会 (2013.11.22)

具体的な活動計画を
作成する

第2回研修会 (2014.2.18)

実践的なことについて
学びパート2

早速始めた 寺尾集落の取り組みを聞く



寺尾の茶の間「ふれあいの会」は、昔からの行事であった「団子の木」に花を咲かせることから始まりまりました。老人会

の皆さんが作った団子や折り紙を、子供達が楽しいように飾っていました。その光景は心が和み、温かい雰囲気がありました。

これからも、会員の皆さんと協力して、世代間交流を通じて「ふれあいの場」を作り、楽しみながら開催していきたいと思ひます。(佐藤信子)



各集落センターで 「地域の茶の間」が 始まります。



めすべての住民が、いつまでも元気に暮らし、楽しく過ごせるようにと考えられた制度です。とりくみ内容、楽しみ方、全てにおいて自由であり、気軽に集える地域の「居場所」です。「地域の茶の間」には、孤立・閉じこもりの防止、仲間づくり、情報交換、心身の健康維持・増進など、様々な効果が期待できます。しかし、この有意義なとりくみの効果を実現させるためには、地域住民の協力が欠かせません。人と人がふれあい、つながり、困ったときには助けあえる温かい関係の構築と地域づくりを目指し、是非とも皆様方のご支援をお願いいたします。(大滝茂 上野)

協議会では、住民同士が積極的にあいさつを交わし、誰でも気軽に声を掛け合い、顔の見える地域社会を創るために「あいさつ+1(プラスワン)運動」を展開しています。少しずつ周知度も高まり、地域に「あいさつ」の輪が広がっているこの頃です。この活動と並行して、「地域の茶の間」の立ち上げ支援を行ってまいりました。「地域の茶の間」とは、地域福祉の充実を図るものであり、高齢者をはじめ

参加者の声

そば打ちは全然やったことが無いので不安だったけど、やってみると意外と簡単で、そばをこねるのは粘土遊びみたいで楽しかったです。自分で打ったそばは、ほっぺたが落ちそうなくらいおいしかったです。(高橋 佑吏 猿沢)

そば打ち体験に参加して、粉練りから切る作業まで、一貫して体験するのは初めてであり、とても参考になりました。そして、みんなでおそばを食べる事ができて、本当に楽しい一時でした。また機会がありましたら参加したいと思ひます。(佐藤 忠治 寺尾)



今回講師を務めてくれた川村 廣(川端)さん(中央)と渡辺 哲栄(松原)さん(右上)



完成したそば



最後は皆でおいしくいただきました!

大地の恵みに感謝、 美味しさを未来へ

体験型農林業の取り組み

昨今、農林業を取り巻く環境は、高齢化や担い手不足などにより、集落営農等による環境保全型への転換期を迎えています。山に目を向けると、建材用に植林されたスギ林は、外国材の輸入や建築工法の変化に比例して、荒廃して行くという悪循環に陥っています。

身近にあり、私達に多くの恵みを与え続けてくれている里山や農地を、次の世代に引き継ぐために、地域住民に農林業を通じて交流とふれあいの機会を提供し、大地の恵みに感謝する心を育むよう、体験型農林業に取り組んでいきます。

8/4 そばの種まき

初の試みとなる体験型農林業、その第一弾として「そばづくり」に挑戦しました。



8月4日まほろば温泉の裏手に約5アールの畑をお借りして、そばの種をまきま

11/2 そばの収穫



「〇心」と秋の空、悪天候により約2週間遅れでようやく収穫の日を迎えました。

11月2日、残念ながらイベントは中止にして、まちづくり役員だけの作業でした。そばの実も落ちないように頑張っていました。そばを、無事に収穫できて本当に良かったです。

12/8 そば打ち体験

12月8日、みんなで作ったそば粉を使ったそば打ち体験を開催しました。

そば打ち道具を貸出します!

今回の取り組みで、そば打ち道具を7セット購入しました。地域の皆様には無料で貸し出します。集落行事や各種イベントでそば打ちをしてはいかがでしょうか。(佐藤 倉一 板屋越)

結び

そばを打ち終えて、試食する人たちの「おいしい」という言葉を聞いて、今回の取り組みの成功を確認しました。打った人によって味が違う「そば打ち」の奥深さを知る体験でした。来年度も「体験型農林業」や「昔ながらの」料理講習会を通じて、地域の魅力を発信しつつ、地域住民の交流を深めていきます。地域の皆様のご参加とご協力をよろしくお願いいたします。



成させていきました。打ちたてのそばは本当に美味しく、自分で打ったそばは格別です。

松原で

救急講習 (入門コース) 命をつなぐAED

村上市消防署朝日分署の救急救命士を講師にお迎えして、松原公民館主催による「救急講習」を実施しました。初心者にも分かりやすく、ていねいにご指導いただきました。ここでは、講習会で教わったことを少し紹介します。

●心室細動

人の心臓が突然止まる原因の一つに、「不整脈」という症状があり、中でも、心臓の筋肉がけいれんを起こし、血液が全身に送り出せなくなった状態を「心室細動」といいます。この「心室細動」は、急性心筋梗塞や、強く胸を打ったりしたときに発症する危険な症状です。

●AEDとは?

「心室細動」に対して、電気ショックを与え(除細動)、再び正しいリズムに戻し、蘇生するための治療機器が「AED」です。日本語では、「自動体外式除細動器」といい、電源を入れて、流れてくるガイダンスに従い操作できます。

しかし、心停止状態のすべての人が「心室細動」であるとは限らないので、AEDが有効に働くかは、AEDを装着してみないと分かりません。

●心臓マッサージ

「AED」が電気ショックは必要ないと判断した場合は、AEDの指示に従って「強く、早く、絶え間ない」心臓マッサージを続けることとなります。

●正しい知識を身につけよう!

正しくAEDを使用するためには、その使い方を知っておく必要があります。皆様も機会がありましたら、講習会に参加してみてくださいはいかがでしょうか。(太田 與平)

